



おおばやし・のぶひこ 38年広島県尾道市生まれ。自主映画からCM界を経て映画に進出、自らの故郷を舞台にした『転校生』『時をかける少女』『さびしんぼう』で話題を得る。近年、尾道新三部作で『ふたり』『あした』を発表している。現在、阿部定事件を基に『SADA』を制作中。

邦画を変える男たち 〈第3回〉

# 大林宣彦

—— 自主映画を撮っていた時代、苦しいことはありませんか？もしあれば、あれでよかったらどうやってそれを解決されましたか？

大林 「北京的西瓜」をはじめ「おかしなふたり」「廃市」「転校生」など、僕の映画の多くは今でも自主映画です。逆に80年代映画時代も自分をアマチュアだと考えたことはなく、いつでも映画史の中での自分のポジションを確認しながら映画を作ってきました。苦しいことといえば、資金集めから上映場所を定めるまで苦勞の連続ですが、何ものにも束縛されない自由を思えば自主映画がいちばんです。

—— フィルムはどのようなものを使用していましたか？

大林 少年時代は家庭用活動写真機（35mm、9.5mm、青年期は8mm、Wサイズ）、いまは16mm（「廃市」）、スーパー16mm（「はるかのスタルジイ」）それに35mm、70mmなど。

—— 自主映画の上映について（方法・形式・会場など）どのような形が望ましいとお考えですか？

大林 原則的には自主上映。見たい人に見たい時、見せたい時見ることが出来る。自宅に映写ルームを持つのが理想です。作品の性質によって劇場での公開も良いでしょうが制作は多くあります。いまは作ることにより上映することの方が困難な時代です。

—— これから映画を撮ろうと考えている人に何か一言お願いします。

大林 映画に対する考え方は人生と同じで、ひとそれぞれにさまざまです。僕の場合はいつでも自分史として映画を作ります。自分の生きた証しとして僕という自分を、いちばん正直に表現できるのが映画だと考えています。いざれにしろ映画を作ることで、自分も、自分の大切なことも豊かになるということが原則です。よう、映画は人生の一部であり、す

- 大林宣彦監督作品（主な作品）
- 『ねらわれた学園』（81年）『転校生』（82年）『時をかける少女』（83年）『天国にいちばん近い島』（84年）『さびしんぼう』（85年）『姉妹坂』（85年）『彼のオートバイ彼女の島』（86年）『漂流教室』（87年）『異人たちの夏』（88年）『北京的西瓜』（89年）『ふたり』（91年）『はるかノスタルジイ』（92年）『青春デケデケ』（92年）『水の旅人』（93年）『女ざかり』（94年）『あした』（95年）

—— 今映画を作っている人（自主映画）に向けて、何か一言お願いします。

大林 世の中のこと、なんでも映画になります。同時に、だからみだりに映画を持って遊んでもいけません。映画にすることというのはそのもの自分と関わるひとつの意志を表明することです。だから僕らが映画を作るつもりでいても、つまりは映画が僕らを作ってくれます。映画とは偉大なものなのです。映画と関わり続けられることほど誇らしく幸福なことはありません。映画に「ありがとう」それだけです。

—— 追伸 みなさんの映画に出会える日を楽しみにしています。

# 自主映画情報！

## NEWS SCRAP

★「常本琢昭監督、J・MOVIE WARSで演出」

日本の若手監督に制作の場を与えるJ・MOVIE WARS。今年は現在Vシネマで活躍中の常本琢昭（仙台出身）が選出された。常本監督の作品は「じょうしこう騎兵隊だっ」「にっぽにーず・がーる」など、おすすめ自主映画館でも紹介されている。作品詳細は未定。ほかに「この夏は君のもの」の古厩監督が選ばれている。

★「おすすめ自主映画館」傑作選

矢口史靖の（最新作『ひみつの花園』）『ワンピース』をはじめ、「おすすめ〜」のアンコール選出にもれた傑作の数々を一挙上映。また15日は特別企画として「アンコール作品+α」を上映。詳しいラインナップは別チラシを参照のこと。

■と き / 9月13日(出)〜15日(祝)  
 ■ところ / 青年文化センター3Fエッグホール  
 ■上映時間 / 13:00〜18:40  
 ■料 金 / フリー料金・ご自由えん  
 ■問い合わせ先 / 青年文化センター 山崎 ☎

## 映像の幻魔術 覗きからくり旅団

『蝸牛庵の夜』でPFF入選を果たし、劇団「セルフキートン」の脚本家兼演出家として活躍中の横田丈美の青春上映会。上映作品『赤木カルタさんの夢』『大阪鯨伝説』『極楽寺、燃えた』

■と き / 9月14日(日) 19:00〜  
 ■ところ / 青森・シューだびよん  
 ■料 金 / 前売¥1300 当日¥1500  
 ■問い合わせ先 / 河野 ☎ <http://www.infoamori.or.jp/~kenji/>



## ユース・ヴィジュアル展

在仙映像作家特集

大宮司勇、前野健一、原鉄をはじめ、在仙映像作家の広きをわたる作品群を紹介。「おすすめ〜」終了後、同会場内にて開催。出品監督による座談会（予定）あり。

■と き / 9月13日〜15日  
 ■ところ / 青文エッグホール  
 ■上映時間 / 13と14日 18:45〜15日 19:45〜  
 ■料 金 / 入場無料  
 ■問い合わせ / 青文 ☎276-2110

## おすすめ自主映画館の上映システム

仙台シネアストでは、インディペンデント映画をより多くのお客さんに観賞していただくため、一日に何度も上映する方式をとっております。また、日程の都合がつかずご来場いただかなかった方のために、作品群の半分を翌月も上映いたしておりますのでお気軽にご来場ください。毎月たくさん映画を観たいという方にはその月だけの上映「月間特集」（S印）もご用意しておりますので裏面の作品解説を参照のうえ、ご観賞ください。

5月 作品 A  
 6月 作品 B  
 7月 作品

A: 6月上映会 B: 7月上映会

おすすめ自主映画館 ・今後の上映日

- 11月2日(日) 青年文化センターエッグホール
- 12月23日(日) 青年文化センターエッグホール
- 1月18日(日) 青年文化センターエッグホール
- 2月11日(祝) 青年文化センターエッグホール

## 『ポカリン』上映会



フリーペーパー「Bubble Paper」紙上で一年間に渡って掲載された小説を、作者自ら映像化した自主制作映画。また、映画サントラの為に結成されたPOCARINSのライブもあり。監督は大学映画部出身の菊地貴公。

■と き / 9月15日(月・祝)  
 ■ところ / カフェカラーズ(市民会館向かい)  
 ■上映時間 / 開場16:00 開演17:00  
 ■料 金 / ¥1000 (1ドリンク付)  
 ■問い合わせ先 / BUBBLE ☎

## 仙台シネマ倶楽部

### 第32回特別例会 『ミルドレッド』



夫に先立たれてはいても、豊かで静かに暮らす一人の女性に訪れる人生の転機を深く美しくドラマチックに描いた感動作。

■と き / 9月28日(日)  
 ■ところ / 141 6Fギャラリーホール  
 ■上映時間 / 11:00/13:30/16:00/18:30  
 ■料 金 / 当日券¥1500 会員¥700  
 ■問い合わせ先 / 高塚 ☎